

学校教育目標

自立する生徒

～イメージ豊かに創造しよう～

- ・意欲を持って学習する人
- ・正義を重んじる人
- ・共に生きる人

城山中だより

No.35

令和8年2月6日

綾瀬市立城山中学校

校長 熊本 丈力

2月朝会 校長 挨拶より

歴史を学ぶ

～本校の「伊勢山遺跡」から～

今日は、歴史について話をします。皆さん、歴史は好きですか。中には暗記することや覚えることが多くて、あまり好きではないという人もいるかと思います。また、遺跡という言葉からは何を連想しますか。

今日は「伊勢山遺跡」について話をします。聞いたことがないという人が多いと思いますが、これはわが城山中学校を中心としたエリアにあった遺跡のことです。

綾瀬市内にもさまざまな遺跡がありますが、人が飲む水や農業用水を利用しやすいように、川沿いには多くの遺跡があるといわれています。特に本校の学区を流れている目久尻川沿いには多くの昔の人が多く住んでいた跡が見つかっています。吉岡の「神崎遺跡」という環濠集落、他にも、綾瀬西高校の「宮久保遺跡」などが有名ですね。

伊勢山遺跡はこれまであまり注目されていませんでしたが、目久尻川沿いの台地上にある遺跡で、この城山中学校の校舎や早川城山住宅を建てる時に、縄文時代、古墳時代から古代、中世、近世に及ぶ建物の跡、土器、鉄製品、陶器など遺物がたくさん出土したといわれます。特に平成2年に城山中学校特別棟の校舎を建てる時に行った調査では、竪穴住居の跡が6軒、掘立柱の建物の跡が3軒見つかりました。今は学校周辺にも数多くの一戸建て住宅が建てられていますが、この同じ場所に大昔から数多くの人々が住んでいたと考えるとワクワクしませんか。

ところで、私たちは歴史をなぜ勉強するのでしょうか。昔の人の名前や出来事を覚えるだけであれば勉強する必要はないでしょう。現代は様々な困難を抱えています。特に世界では、ロシアとウクライナなどでの戦争が続いています。戦争の原因は何なのか、どうして戦争をしなければならなかったのか。これから平和な世の中にしていくためには、これまでの歴史を知る必要があります。戦争をなくしたいと思っても、歴史がわからなければ和平も、解決もできません。時代は違いますが、現代社会が抱える困難と同様の困難を過去の人々が経験し、それをどのように克服してきたか、歴史に学ぶことは多くあります。過去から学び、未来に生かせと言っているのが歴史です。歴史を勉強することは、みなさんにとってこれから生きていく上で必ず役に立ちます。自分の興味のある分野の歴史に興味をもって、いろいろな本を読んだり、調べることで、参考になる、自分の未来に必要なことがらがるのではないかと思います。

今月、綾瀬市により、学校の目の前の道路に「伊勢山遺跡」を紹介する看板が設置されると聞きました。遺跡の地図やその時出てきた土器などの写真も載せると聞いていますので、設置されたら見てみてください。また、本校の図書室にも綾瀬市の歴史を表した本（綾瀬市史など）がありますので、関心がある人は読んでみましょう。